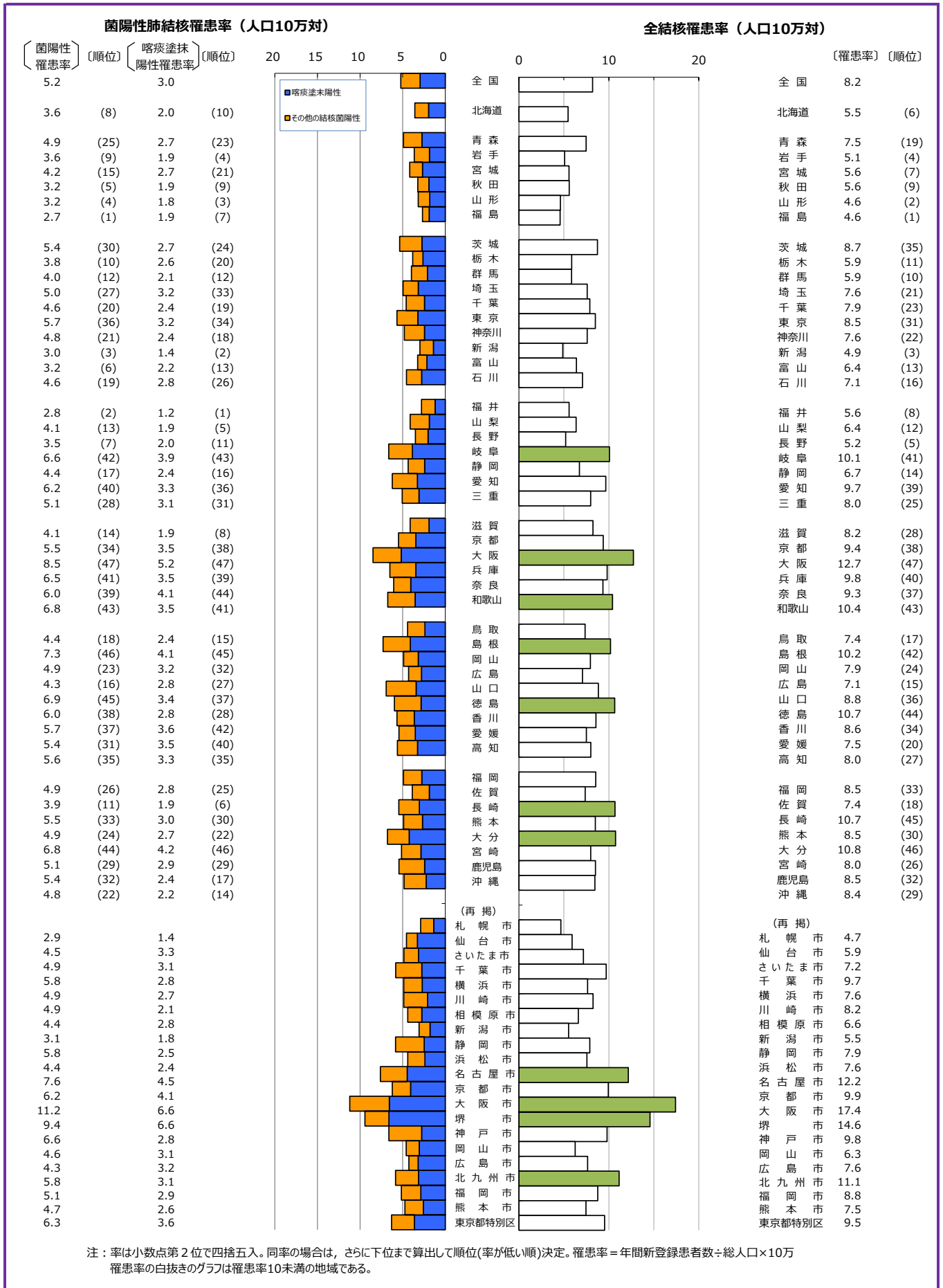


都道府県別にみた全結核罹患率（2022年）



2022年の都道府県別全結核罹患率は、大阪府（12.7）が最高で、次いで大分県（10.8）、長崎県（10.7）、徳島県（10.7）、和歌山県（10.4）の順となっています。一方、最低は福島県（4.6）、山形県（4.6）、次いで新潟県（4.9）、岩手県（5.1）、長野県（5.2）の順で10を下回った都道府県の数は、40となっています。また、政令指定都市の中では、高い方で大阪市（17.4）、堺市（14.6）、名古屋（12.2）、低い方で札幌市（4.7）、新潟市（5.5）、仙台市（5.9）の順となっており、かなりの格差があります。

資料：結核登録者情報調査年報集計結果、厚生労働省